

NetskopeとUmbrellaローミングクライアント間の互換性のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

[影響](#)

[解決策：プロキシからのローミングクライアントのバイパス](#)

はじめに

このドキュメントでは、NetskopeとUmbrellaローミングクライアント間の互換性の問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

概要

このKBAは、ローミングクライアントがUmbrellaダッシュボードとの同期に失敗するという問題が発生しているNetskopeプロキシのユーザを対象としています。この結果、ローミングクライアントがネットワーク上で正しくアクティブ化されません。この記事では、Netskopeプロキシから同期を除外する方法について説明します。

この情報は、WindowsとMacOSの両方のクライアントのローミングに適用されます。

影響

SSLトラフィックをNetskopeサーバに送信するNetskopeプロキシを介してSSLがトンネリングされている場合、ローミングクライアントはUmbrellaと正常に同期できません。これにより、パケットは保護されていない非暗号化状態のままになります。場合によっては、クライアントが最初の同期の前に暗号化されることがあり、その結果、既知の問題が発生し、（ローカルDNS検索サフィックスの一覧にない）内部ドメインの解決に失敗することがあります。

一部のネイティブアプリは、Netskopeで証明書がピン接続されているかのように動作するため、サードパーティの証明書が受け入れられません。このピンニングは、ローミングクライアントで使用する.NET暗号化フレームワークの結果として発生します。

解決策：プロキシからのローミングクライアントのバイパス

このソリューションは、ローミングしているクライアントのサービスプロセスが、「証明書の固定アプリケーション」機能を介してNetskopeのプロキシ経由で転送されないようにします。

アプリケーションは、定義されている場合、アプリケーションのブロックまたはバイパスを許可します。[バイパス（クライアント同期のローミングに必要）]を選択した場合、Netskopeクライ

アントはクラウドのエンドポイントからNetskopeプロキシへのトラフィックを誘導せず、アプリケーションは引き続き機能します。Blockを選択すると、トラフィックはNetskopeクライアントによってブロックされます。デフォルトでは、すべてのアプリケーションがバイパスされますが、必要な設定はローミングクライアントのサービスをバイパスすることです。

証明書ピンニングアプリケーションを編集してUmbrellaローミングクライアントサービスを追加するには、次の手順を使用します。

1. Settings > Manage > Certificate Pinned Applications > Advanced Settingsの順に移動します。
[詳細設定]ウィンドウが表示されます。
2. [詳細設定]ウィンドウで、[各アプリケーションのカスタム設定]を選択します。カスタムサービス/アプリケーションを追加するには、次のサブステップを使用します
 - アプリケーションリストでMicrosoft Office 365 Outlook.comを選択し (Umbrellaオプションはありません。これにより先に進むことができます)、[操作]で[バイパス]を選択します。
 - [モード]で、[直接]を選択します。
 - 「プラグインプロセス」フィールドで、スタンドアロンのローミングクライアントに「ercservice.exe」と入力します。AnyConnectローミングモジュールの場合は、「acumbrellaplugin.exe」と入力します。
3. [Submit] をクリックします。[詳細設定]が閉じます。
4. クライアントマシンで、Netskopeエージェントを再起動して、これらの新しい設定をすぐに取得します。(通常、クライアントは更新を求めてNetskopeに連絡するため、1時間以内にクライアントが更新されます)。

詳細設定が存在します。どちらのシナリオでも動作すると考えられますが、Bypass + directを使用することをお勧めします。

1. Bypass + Direct : このオプションを選択すると、クライアントから設定済みのアプリケーション/ドメインがバイパスされます。Netskopeへは移動しません。
2. Bypass + Tunnel : このオプションを選択すると、クライアントはアプリケーション/ドメインからトラフィックをトンネリングしますが、Netskopeプロキシはこれをバイパスします。このオプションは、SSO認証サービスに関連付けられたドメインに対して便利です。これらのサービスでは、NetskopeクラウドのソースIPを使用して、クラウドアプリケーションへのアクセスがNetskopeによって保護されているかどうかを判別するためです。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。